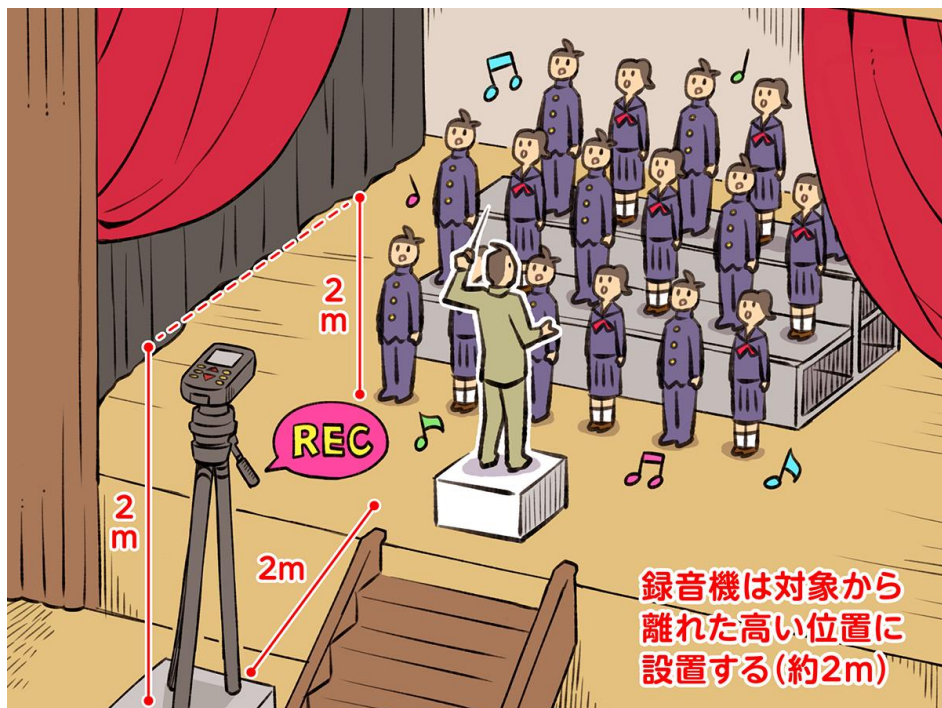


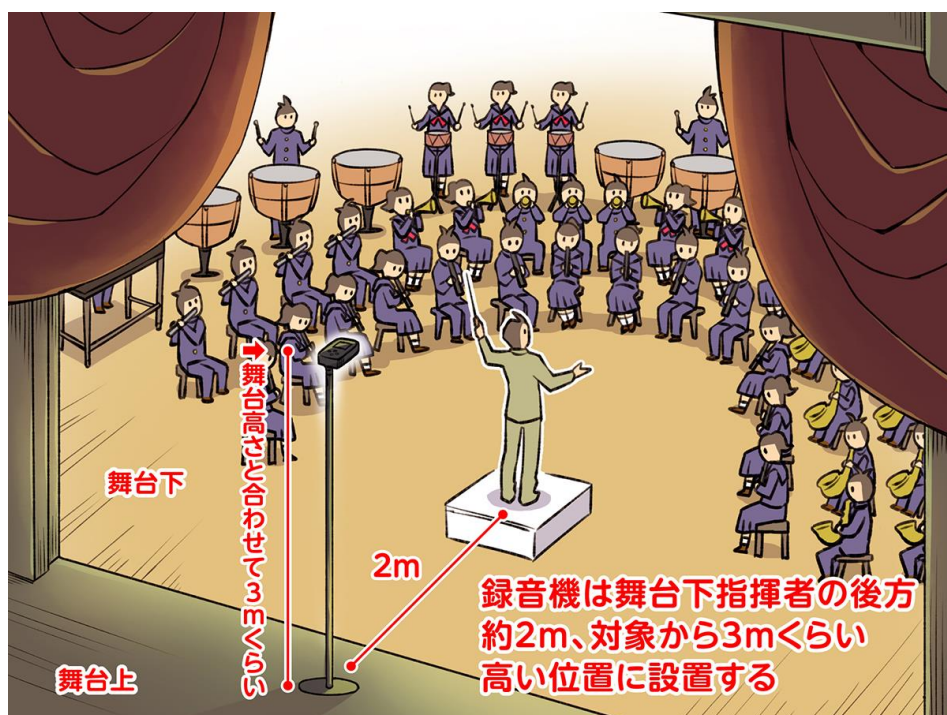
【器楽合奏・合唱など大きな編成の録音方法】

録音機材は指揮者の後方2m以上離し、高さ2mくらいの場所に置くと、良いバランスで録音できると思います。※体育館、音楽室など、どのような環境でも同様です。

■合唱の場合

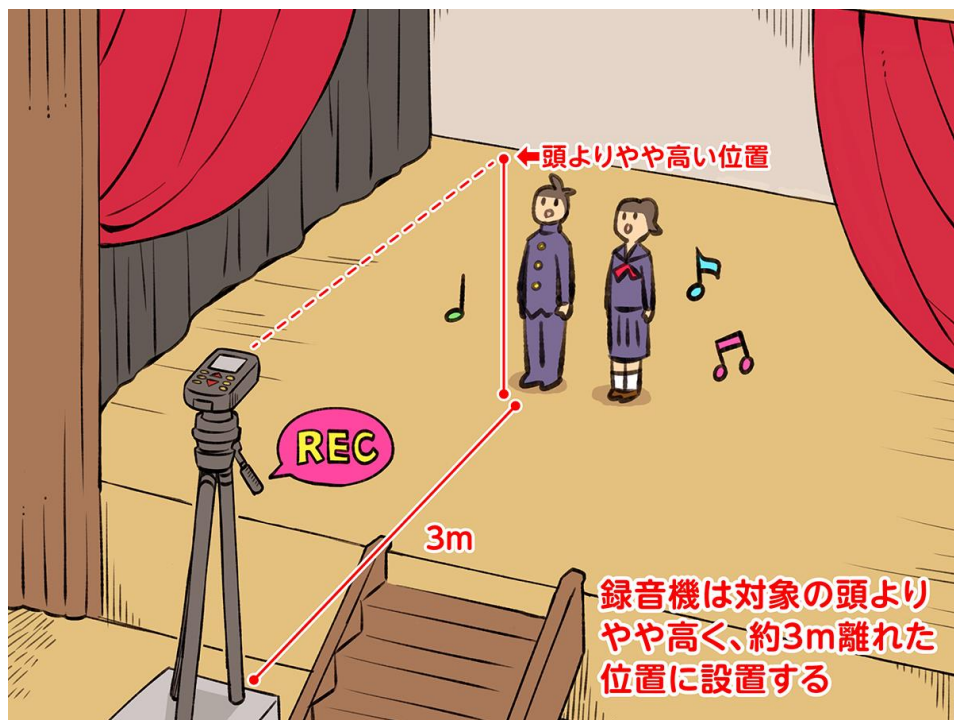


■器楽合奏の場合



【小編成(重奏・重唱)の録音方法】

録音機材から3mほど離れ、高さは頭の位置を超える場所に置くと、良いバランスで録音できると思います。※体育館、音楽室など、どのような環境でも同様です。



※大編成も小編成も録音機の録音ボタンを押したあと10秒以上たってから演奏を開始してください

【録音機の設定について】

音量メーターの表示が楽曲の中で一番音が大きな部分で4分の3くらいに表示が収まるようにしてください。



ICレコーダー・ビデオカメラ等の設定は・・・

- ・「AGC」オートゲインコントロール(自動音量調節機能)はOFF
- ・「LO CUT」ローカット(低音を録音しない設定)もOFF
- ・「REV」リバーブ(エコー)もOFFで録音してください
- ・録音が終わった後に、パソコン等で編集される場合にも審査に影響を与えるためリバーブはかけないでください

【ICレコーダー参考セット図】

(使用機材例：Roland R-07(Red) / TASCAM DR-40 VER2-J)

■カメラ三脚の使用例



■譜面台の使用例

